

コンパニオンプランツとは？

☆野菜と花、両方植えるといいことが☆

コンパニオンプランツとは、育てたい野菜や花のそばに植えることで

- ①病気や害虫の被害にあいにくくなる
- ②生育がよくなる
- ③風味や味がよくなる

といった様々なメリットをもたらす植物のことをいいます。

別名、「共栄作物」「共存作物」とも呼ばれています。

今回は、具体的なメリットや相性の良い組み合わせを紹介していきます。

☆ 優秀なマリーゴールド ☆

マリーゴールドは「植物のお医者さん」と呼ばれるほどコンパニオンプランツとして認知されています。

マリーゴールドは様々な植物と相性がよく、根の分泌液が土中のセンチュウを遠ざけ、葉っぱのにおいには防虫効果が期待できます。

マリーゴールドと相性のよい野菜とメリット

キャベツ・・・・・・・・・・アオムシ、コナガ、ハムシ類を遠ざける

カボチャ、ズッキーニ・・センチュウ類を遠ざける

キュウリ・・・・・・・・・・アブラムシ、センチュウ類を遠ざける

シシトウ、ジャガイモ・・害虫を遠ざける

スイカ・・・・・・・・・・病気や連作障害を予防

ダイコン・・・・・・・・・・病気やセンチュウ類などの害虫を遠ざる、連作障害を予防

トマト、ナス、ピーマン・病虫害を減らす

ニンジン・・・・・・・・・・センチュウ類を遠ざける

レタス・・・・・・・・・・生育を助ける

コンパニオンプランツの種類によって、香りで害虫を防ぐもの、土壌改良や連作を可能にするもの、病気を防ぐものなどと効果は様々です。

相性のよい植物を組み合わせることで、農薬や殺虫剤の代わりになり、有機栽培に効果的です。育てたい野菜や花にあったコンパニオンプランツを探してみると面白いですよ♪